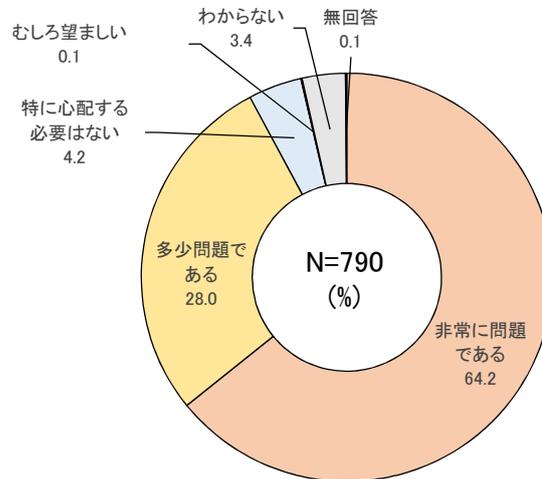


2 少子化に対する意識について

問1 あなたは、少子化が進むことや「少子社会」について、どのように思いますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「非常に問題である」(64.2%)の割合が最も高く、「多少問題である」(28.0%)が続く。この二つで90%を超える。

【圏域別】

オホーツクでは「非常に問題である」(44.4%)が低く、「多少問題である」(42.2%)が高い。

【人口規模別】

「非常に問題である」の割合は、札幌市(68.3%)、人口10万人以上の市(66.0%)、人口10万人未満の市(63.9%)の順に高い。

【性別】

「非常に問題である」の割合は、男性(68.8%)が女性(60.9%)を上回っている。「多少問題である」を合わせると、問題意識に差異は見られない。

【年代別】

「非常に問題である」の割合は60～69歳(59.4%)、70歳以上(59.7%)で6割を下回る。

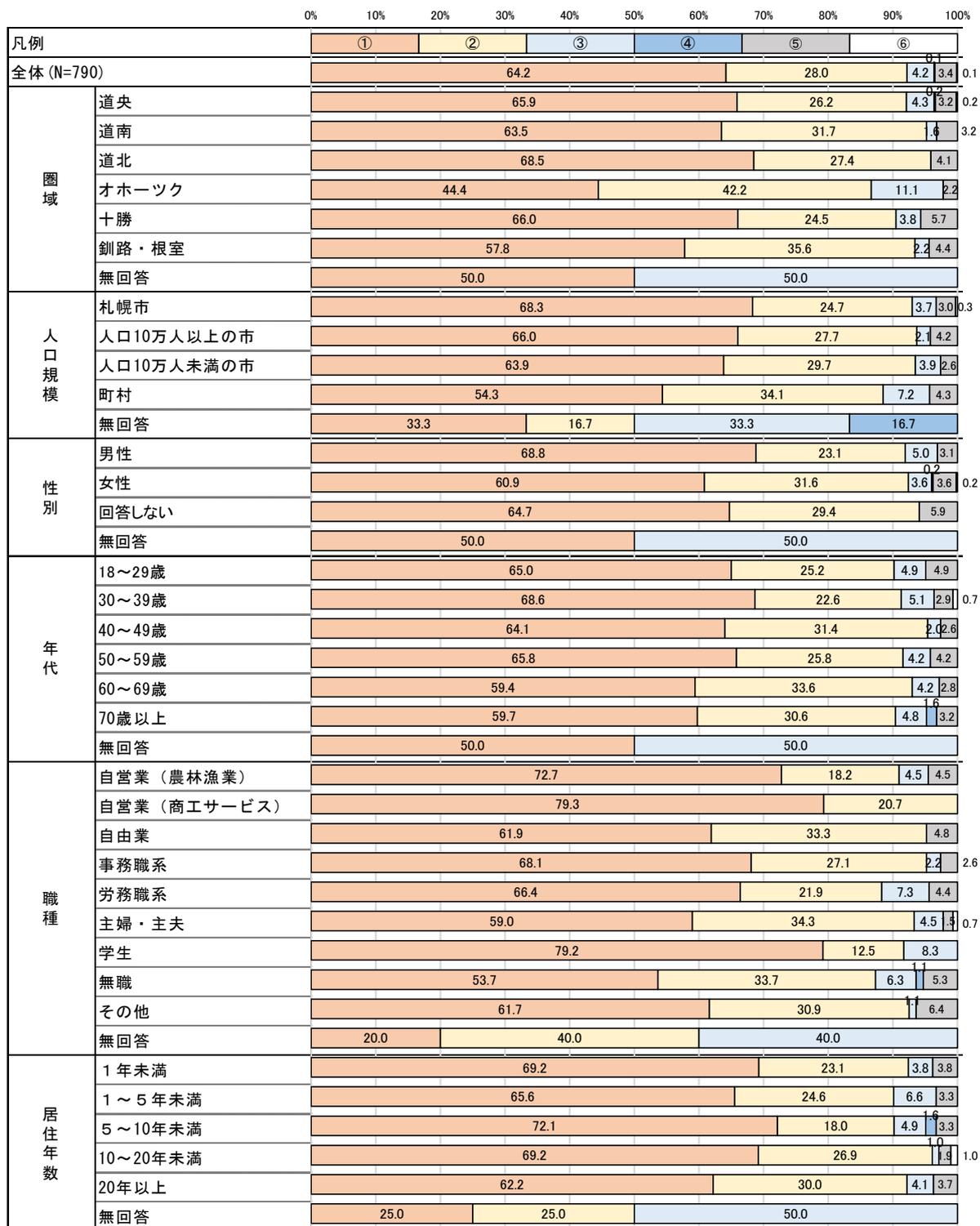
【職種別】

「非常に問題である」の割合は、自営業(商工サービス)(79.3%)、学生(79.2%)で高い。これに自営業(農林漁業)(72.7%)が続く。

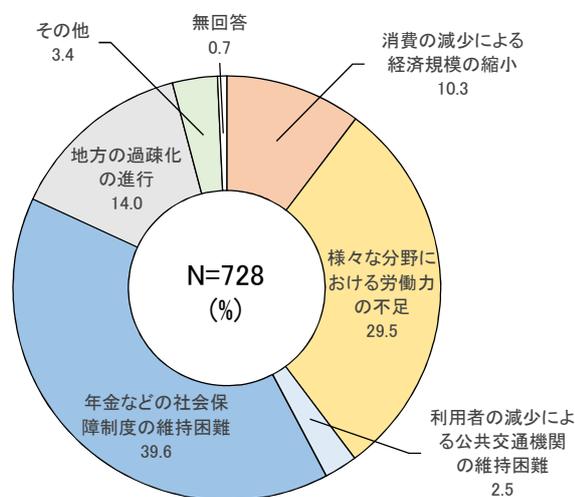
【居住年数別】

居住年数による差異は見られないが、「非常に問題である」と「多少問題である」の合計は、居住年数10～20年未満で最も高い。

- ① 非常に問題である
 ② 多少問題である
 ③ 特に心配する必要はない
 ④ むしろ望ましい
 ⑤ わからない
 ⑥ 無回答



問2 「※問1で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
 どうして問題であると思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「年金などの社会保障制度の維持困難」(39.6%)の割合が最も高く、「様々な分野における労働力の不足」(29.5%)、「地方の過疎化の進行」(14.0%)が続く。

【圏域別】

道央、道南、オホーツク、釧路・根室では「年金などの社会保障制度の維持困難」が最も高いが、道北、十勝では「様々な分野における労働力の不足」が最も高い。

【人口規模別】

いずれの人口規模でも「年金などの社会保障制度の維持困難」が最も高い。人口規模が小さい市町村ほど「地方の過疎化の進行」の割合が高くなる傾向が見られる。

【性別】

男性では「様々な分野における労働力の不足」(34.6%)が最も高いのに対し、女性では「年金などの社会保障制度の維持困難」が最も高い。

【年代別】

年代による大きな差異は見られない。70歳以上では「様々な分野における労働力の不足」の割合が最も高く、「地方の過疎化の進行」(23.2%)も他の年代より高い。

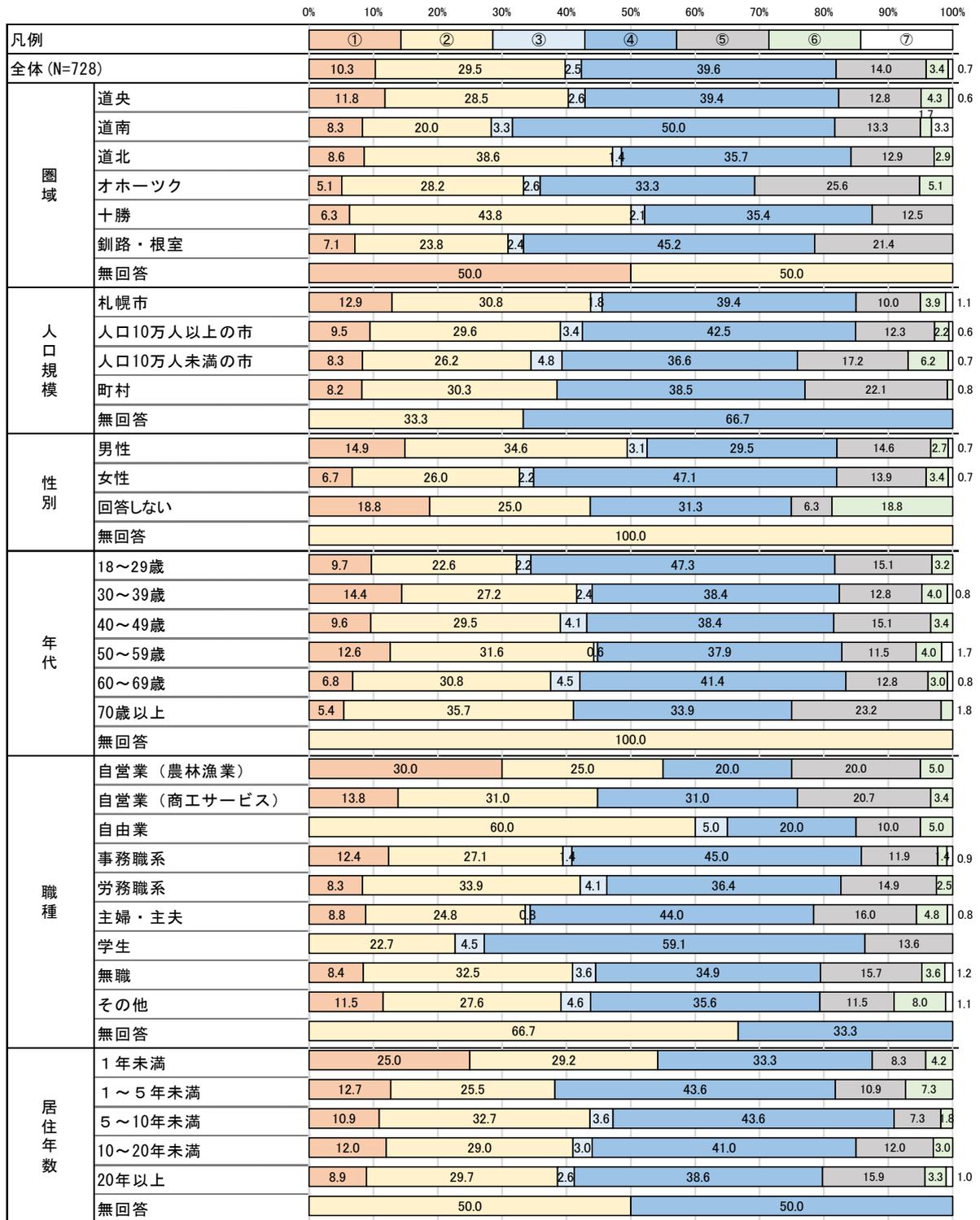
【職種別】

自由業では「様々な分野における労働力の不足」(60.0%)の割合が最も高いのに対し、学生では「年金などの社会保障制度の維持困難」(59.1%)が最も高い。

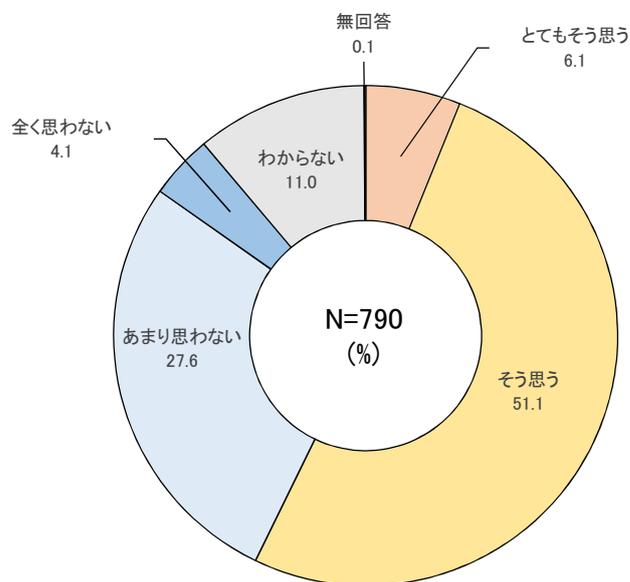
【居住年数】

1年未満では「消費の減少による経済規模の縮小」(25.0%)の割合が高い。20年以上では「地方の過疎化の進行」(15.9%)の割合がやや高い傾向が見られる。

- ① 消費の減少による経済規模の縮小
- ② 様々な分野における労働力の不足
- ③ 利用者の減少による公共交通機関の維持困難
- ④ 年金などの社会保障制度の維持困難
- ⑤ 地方の過疎化の進行
- ⑥ その他
- ⑦ 無回答



問3 あなたがお住まいの地域は、「安心して子どもを育てられる環境」だと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「そう思う」（51.1%）の割合が半数を超え、これに「あまり思わない」（27.6%）、「わからない」（11.0%）の順で続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られないが、十勝では「わからない」（17.0%）の割合が、他の圏域に比べて高い。

【人口規模別】

人口10万人未満の市では「あまり思わない」（38.1%）の割合が高い。その他、人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

18～29歳では「そう思う」（39.8%）の割合が他の年代に比べて低く、「とてもそう思う」（10.7%）の割合が1割を超える。

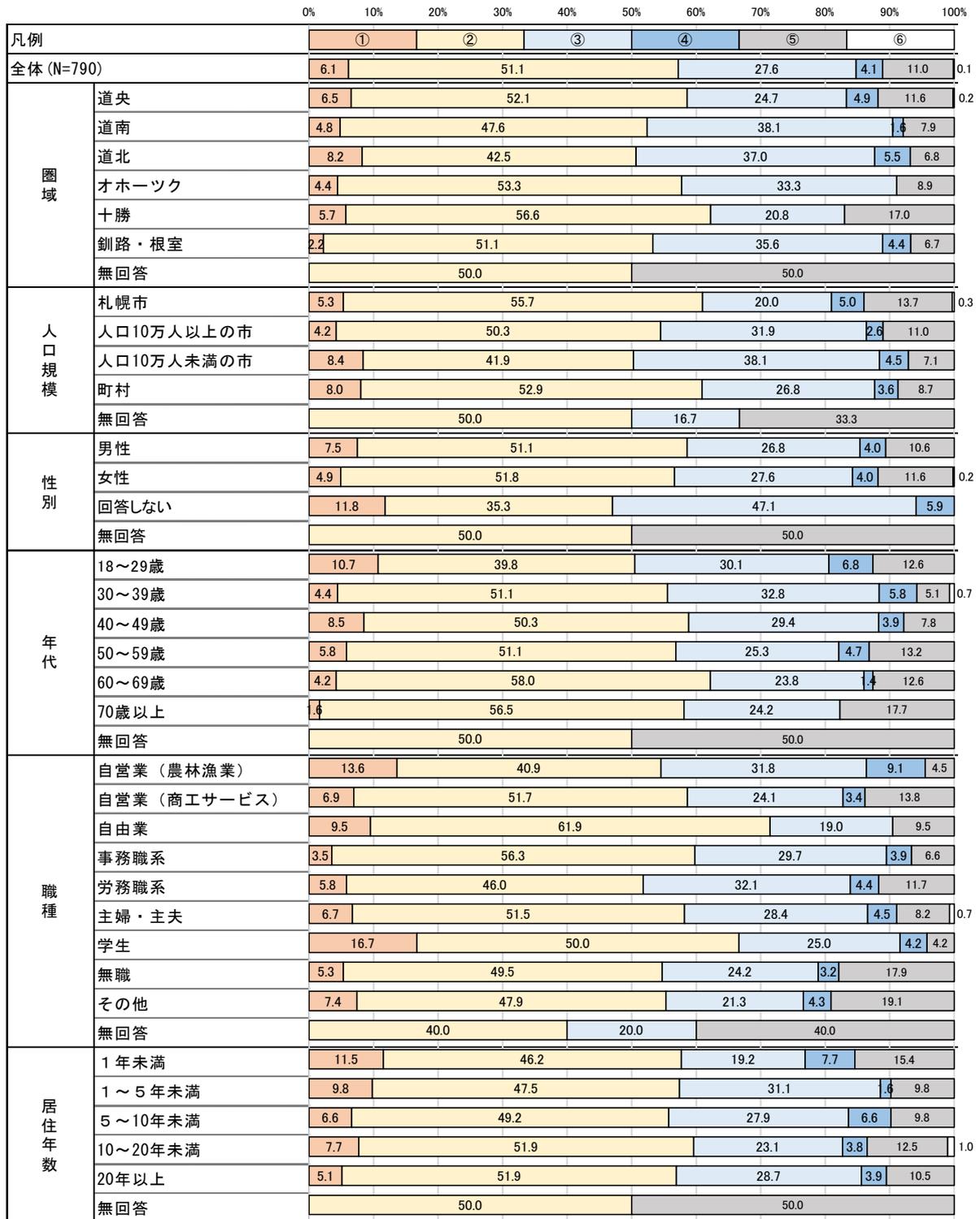
【職種別】

「とてもそう思う」の割合は、自営業（農林漁業）（13.6%）や学生（16.7%）で高くなっている。自由業では「そう思う」（61.9%）が6割を超える。

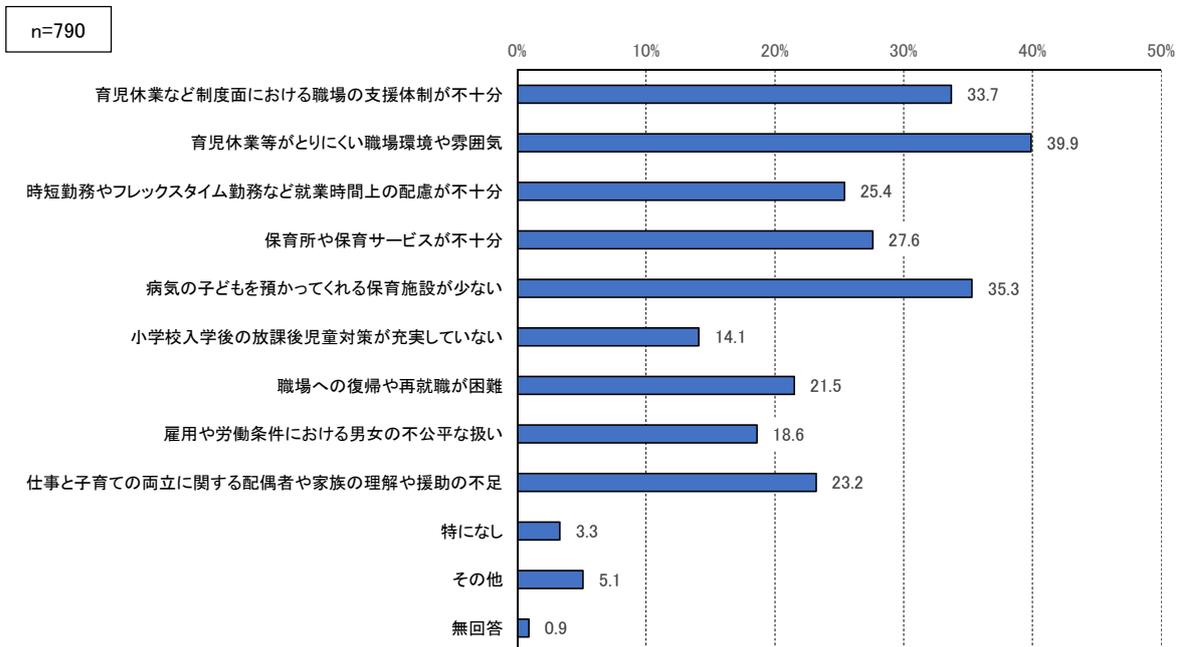
【居住年数】

居住年数が短いほど「とてもそう思う」の割合が高い傾向がみられる。

- ① とてもそう思う
 ② そう思う
 ③ あまり思わない
 ④ 全く思わない
 ⑤ わからない
 ⑥ 無回答



問4 仕事と子育てを両立するために、どのようなことが課題だと思いますか。
 (今後課題となることでも可)
 あなたの考えに近いものを次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「育児休業等がとりにくい職場環境や雰囲気」(39.9%)の割合が最も高く、「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」(35.3%)、「育児休業など制度面における職場の支援体制が不十分」(33.7%)が続く。

【圏域別】

道南では「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」(54.0%)の割合が半数を超える。

【人口規模別】

人口10万人以上の市では「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」(44.5%)の割合が、他の人口規模の市町村に比べて高く、札幌市(27.7%)では低い。

【性別】

男性に比べ、女性では「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」(42.7%)の割合が高い。

【年代別】

「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」の割合は、50～59歳(44.7%)と60～69歳(43.4%)で高い。

【職種別】

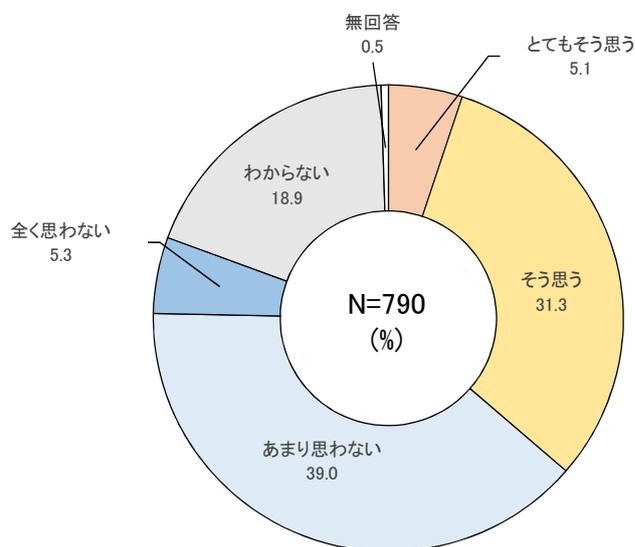
「育児休業など制度面における職場の支援体制が不十分」は、自由業(47.6%)や自営業(農林漁業)(45.5%)で高い。

【居住年数】

居住年数5～10年未満では「職場への復帰や再就職が困難」(27.9%)が3割近くに上る一方、「育児休業など制度面における職場の支援体制が不十分」(23.0%)は、他に比べて低い。

	(%)	十分 育 児 休 業 の 支 援 制 度 面 が 不 お	職 育 児 休 業 等 が と り に く い	の 配 慮 が 不 十 分	時 短 勤 務 や フ レ ッ ク ス タ	保 育 所 や 保 育 サ ー ビ ス が 不 十 分	病 気 の 子 ど も を 預 か つ て く る 保 育 施 設 が 少 な い	小 学 校 入 学 後 の 放 課 後 児 童 対 策 が 充 実 し て い な い	困 職 場 へ の 復 帰 や 再 就 職 が	雇 用 や 労 働 条 件 に お け る 男 女 の 不 公 平 な 扱 い	仕 事 と 子 育 て の 両 立 に 関 する 配 偶 者 や 家 族 の 理 解 や 援 助 の 不 足	特 に な し	そ の 他	無 回 答
全体 (n=790)		33.7	39.9	25.4	27.6	35.3	14.1	21.5	18.6	23.2	3.3	5.1	0.9	
圏 域	道央	32.1	40.0	26.4	26.6	32.7	15.6	23.1	19.7	23.9	3.2	5.7	0.8	
	道南	42.9	41.3	23.8	20.6	54.0	15.9	19.0	11.1	22.2	1.6	1.6	0.0	
	道北	31.5	49.3	31.5	31.5	35.6	13.7	21.9	15.1	19.2	2.7	2.7	0.0	
	オホーツク	48.9	37.8	15.6	28.9	35.6	0.0	17.8	24.4	17.8	2.2	2.2	2.2	
	十勝	34.0	32.1	30.2	34.0	32.1	17.0	11.3	15.1	18.9	9.4	5.7	0.0	
	釧路・根室	24.4	35.6	11.1	35.6	37.8	6.7	24.4	20.0	31.1	2.2	8.9	2.2	
	無回答	50.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	
人 口 規 模	札幌市	34.0	40.3	27.3	28.7	27.7	16.0	24.3	21.0	24.7	2.7	5.3	0.3	
	人口10万人以上の市	33.0	38.7	28.8	32.5	44.5	18.8	19.9	20.4	22.0	1.6	3.1	0.5	
	人口10万人未満の市	32.9	37.4	23.2	23.9	32.9	11.0	20.6	14.2	22.6	4.5	6.5	1.9	
	町村	35.5	44.2	19.6	23.9	41.3	7.2	19.6	15.9	21.7	5.1	5.8	0.0	
	無回答	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	
性 別	男性	37.4	38.9	25.9	29.0	24.9	12.5	22.7	17.1	19.6	4.0	6.2	0.6	
	女性	31.1	40.7	25.8	26.9	42.7	15.1	20.9	18.9	24.9	2.9	4.2	1.1	
	回答しない	29.4	41.2	5.9	23.5	29.4	17.6	17.6	35.3	41.2	0.0	5.9	0.0	
	無回答	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
年 代	18～29歳	39.8	46.6	25.2	28.2	27.2	4.9	18.4	17.5	29.1	2.9	6.8	0.0	
	30～39歳	43.1	42.3	32.8	26.3	27.7	12.4	17.5	23.4	20.4	2.2	10.9	0.0	
	40～49歳	28.8	42.5	22.9	24.8	30.1	15.0	22.9	17.6	28.1	3.9	6.5	0.0	
	50～59歳	25.8	37.4	21.1	35.3	44.7	15.8	24.7	12.6	22.1	4.2	2.1	1.1	
	60～69歳	32.2	32.9	29.4	26.6	43.4	17.5	16.8	21.0	19.6	2.1	2.1	1.4	
	70歳以上	41.9	41.9	19.4	16.1	29.0	17.7	33.9	24.2	17.7	4.8	1.6	4.8	
	無回答	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
職 種	自営業（農林漁業）	45.5	36.4	13.6	40.9	27.3	4.5	27.3	18.2	18.2	0.0	4.5	0.0	
	自営業（商工サービス）	34.5	17.2	20.7	41.4	24.1	6.9	27.6	24.1	34.5	0.0	13.8	0.0	
	自由業	47.6	47.6	23.8	33.3	38.1	4.8	14.3	4.8	23.8	4.8	4.8	0.0	
	事務職系	28.4	38.9	27.5	29.3	42.4	16.2	18.8	17.5	24.5	1.7	4.8	0.0	
	労務職系	35.8	38.7	27.0	29.2	32.8	19.0	21.9	23.4	19.7	3.6	2.9	0.0	
	主婦・主夫	35.1	46.3	20.9	24.6	38.1	14.9	27.6	14.9	23.9	0.7	3.0	2.2	
	学生	37.5	41.7	20.8	25.0	12.5	8.3	20.8	25.0	41.7	0.0	12.5	0.0	
	無職	32.6	50.5	24.2	24.2	25.3	8.4	26.3	18.9	16.8	7.4	1.1	2.1	
	その他	36.2	31.9	31.9	22.3	37.2	14.9	12.8	19.1	22.3	8.5	11.7	0.0	
	無回答	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	
居 住 年 数	1年未満	38.5	38.5	30.8	23.1	34.6	15.4	19.2	19.2	19.2	7.7	3.8	0.0	
	1～5年未満	34.4	44.3	31.1	26.2	32.8	16.4	11.5	16.4	16.4	3.3	13.1	0.0	
	5～10年未満	23.0	34.4	18.0	27.9	26.2	8.2	27.9	18.0	24.6	6.6	6.6	1.6	
	10～20年未満	37.5	40.4	25.0	30.8	31.7	12.5	18.3	18.3	22.1	2.9	5.8	0.0	
	20年以上	33.9	40.3	25.5	27.5	37.3	14.8	22.8	18.9	24.2	2.6	3.9	0.9	
	無回答	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	

問5 あなたがお住まいの地域は、例えば登下校時の安全を見守ってくれたり、バスや電車等で子ども連れの親子に席を譲ってくれたりといった行動を通じて、子どもや子育て家庭のことを気にかけてくれる人が多いと思いますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「あまり思わない」 (39.0%) の割合が最も高く、「そう思う」 (31.3%)、「わからない」 (18.9%) が続く。

【圏域別】

釧路・根室では「あまり思わない」 (46.7%) や「わからない」 (31.1%) の割合が高い。

【人口規模別】

「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は、概ね人口規模が小さい市町村ほど高くなる傾向が見られる。「あまり思わない」の割合は札幌市 (42.0%) が最も高い。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

60～69歳で「とてもそう思う」 (1.4%) の割合は低くなっている。

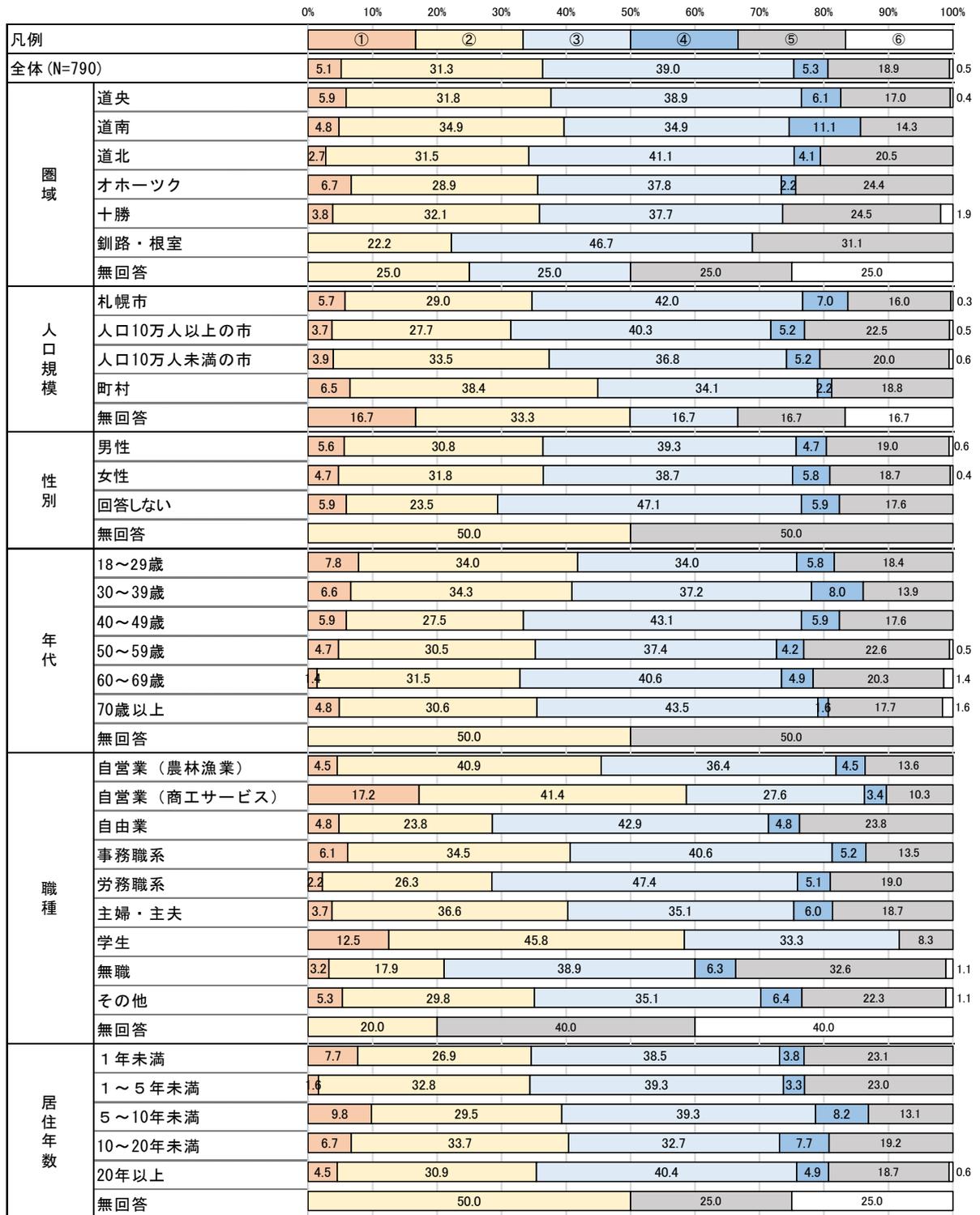
【職種別】

自営業 (商工サービス) では「とてもそう思う」 (17.2%) の割合が最も高く、「そう思う」 (41.4%) を合わせた割合も58.6%と最も高い。これに学生 (計58.3%) が続く。

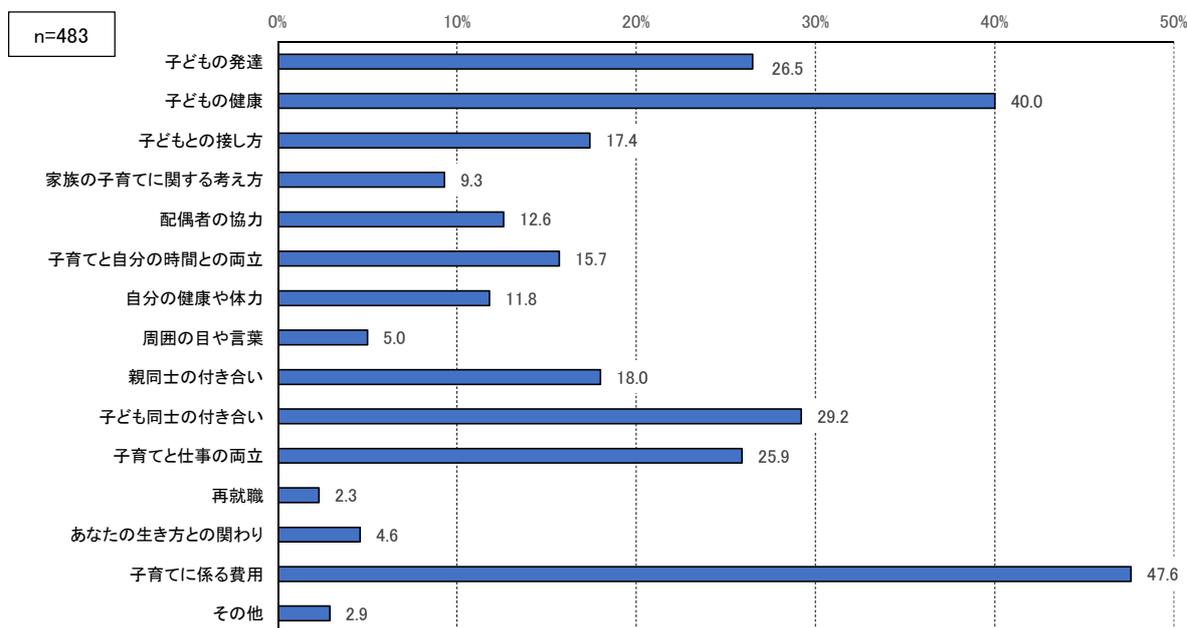
【居住年数】

居住年数1～5年未満では、「とてもそう思う」 (1.6%) の割合が低い。

- ① とてもそう思う
 ② そう思う
 ③ あまり思わない
 ④ 全く思わない
 ⑤ わからない
 ⑥ 無回答



問6 ※現在子育て中、あるいは子育て経験のある方のみお答えください。
 あなたが、子育てで不安に思っていること（思ったこと）はなんですか。
 次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「子育てに係る費用」（47.6%）の割合が最も高く、「子どもの健康」（40.0%）、「子ども同士の付き合い」（29.2%）、「子どもの発達」（26.5%）、「子育てと仕事の両立」（25.9%）が続く。

【圏域別】

十勝では「子どもの健康」（52.9%）や「子育てに係る費用」（64.7%）の割合が半数を超える。オホーツクでは「子ども同士の付き合い」（40.0%）、釧路・根室では「子育てと仕事の両立」（37.5%）の割合は他の圏域より大きくなっている。

【人口規模別】

人口10万人以上の市では「子育てに係る費用」（52.4%）の割合が高くなっている。札幌市では「子育てと自分の時間との両立」（19.0%）の割合がやや高い。

【性別】

男性では「子どもの発達」（35.2%）、「子どもの健康」（54.4%）の割合が女性を上回る。一方、女性は「配偶者の協力」（16.4%）、「子育てと仕事の両立」（31.8%）、「子育てに係る費用」（50.3%）の割合が高い。

【年代別】

18～29歳では「周囲の目や言葉」（12.5%）の割合がやや高く、「子ども同士の付き合い」（4.2%）は低い。50歳以上では「子どもの健康」の割合が高い。

【職種別】

自営業（農林漁業）や自由業、労務職系などでは「子どもの健康」の割合が5割を超える。「子育てに係る費用」の割合は、自営業（商工サービス）、労務職系、主婦・主夫などで5割を超える。

【居住年数】

居住年数1年未満では、「子どもの発達」（70.0%）の割合が高い。1～5年未満、5～10年未満では「子どもの健康」、「子育てに係る費用」の割合が高い。

	(%)	子どもの発達	子どもの健康	子どもとの接し方	家族の子育てに関する考	配偶者の協力	子育てと自分の時間との両立	自分の健康や体力	周囲の目や言葉	親同士の付き合い	子ども同士の付き合い	子育てと仕事の両立	再就職	あなたの生き方との関わ	子育てに係る費用	その他
全体 (n=483)	26.5	40.0	17.4	9.3	12.6	15.7	11.8	5.0	18.0	29.2	25.9	2.3	4.6	47.6	2.9	
圏域	道央	25.4	40.0	17.1	9.5	12.7	16.5	12.4	5.1	18.4	31.4	25.1	2.9	3.2	46.7	2.9
	道南	31.3	37.5	9.4	12.5	12.5	12.5	18.8	6.3	15.6	31.3	31.3	0.0	6.3	43.8	3.1
	道北	27.9	41.9	16.3	7.0	9.3	16.3	11.6	9.3	25.6	18.6	27.9	2.3	9.3	41.9	7.0
	オホーツク	20.0	28.0	28.0	12.0	8.0	16.0	8.0	0.0	16.0	40.0	28.0	0.0	8.0	56.0	0.0
	十勝	29.4	52.9	14.7	2.9	5.9	23.5	8.8	5.9	8.8	23.5	14.7	0.0	8.8	64.7	0.0
	釧路・根室	28.1	34.4	25.0	12.5	25.0	3.1	6.3	0.0	18.8	18.8	37.5	3.1	3.1	43.8	3.1
	無回答	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
人口規模	札幌市	28.8	39.1	17.9	10.3	12.5	19.0	10.3	3.8	16.8	31.0	25.5	2.2	2.7	48.9	2.2
	人口10万人以上の市	25.8	37.1	19.4	8.9	11.3	11.3	16.1	7.3	21.0	29.8	21.0	2.4	7.3	52.4	3.2
	人口10万人未満の市	22.0	44.0	15.4	8.8	13.2	14.3	12.1	5.5	15.4	27.5	33.0	3.3	4.4	44.0	2.2
	町村	26.8	41.5	15.9	7.3	14.6	17.1	8.5	3.7	18.3	26.8	26.8	1.2	4.9	41.5	4.9
	無回答	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
性別	男性	35.2	54.4	20.3	12.1	7.1	13.2	9.3	2.2	15.9	27.5	17.0	0.0	4.9	42.9	2.7
	女性	21.6	31.8	15.8	7.5	16.4	17.5	13.4	6.2	19.2	30.8	31.8	3.8	4.1	50.3	2.7
	回答しない	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	55.6	11.1
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	18～29歳	25.0	37.5	12.5	0.0	20.8	20.8	0.0	12.5	12.5	4.2	33.3	8.3	4.2	50.0	4.2
	30～39歳	34.5	39.1	20.7	9.2	5.7	26.4	6.9	9.2	11.5	24.1	36.8	2.3	3.4	50.6	1.1
	40～49歳	24.3	28.2	17.5	3.9	6.8	17.5	19.4	2.9	14.6	39.8	24.3	3.9	7.8	50.5	5.8
	50～59歳	30.1	43.1	13.0	12.2	13.8	8.9	13.8	1.6	22.0	31.7	19.5	0.8	2.4	52.8	3.3
	60～69歳	19.8	44.6	15.8	10.9	16.8	12.9	8.9	5.9	24.8	21.8	24.8	2.0	5.0	47.5	2.0
	70歳以上	22.2	51.1	28.9	15.6	22.2	13.3	11.1	4.4	15.6	37.8	24.4	0.0	4.4	20.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業（農林漁業）	33.3	60.0	26.7	13.3	6.7	13.3	20.0	0.0	6.7	20.0	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	自営業（商工サービス）	33.3	28.6	23.8	4.8	14.3	4.8	9.5	4.8	19.0	4.8	38.1	4.8	9.5	57.1	4.8
	自由業	36.4	54.5	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1	45.5	0.0
	事務職系	25.2	35.6	14.1	11.9	8.9	21.5	13.3	8.1	16.3	28.9	34.8	2.2	5.2	42.2	5.2
	労務職系	33.7	50.6	14.5	7.2	10.8	18.1	8.4	1.2	16.9	39.8	18.1	0.0	4.8	51.8	2.4
	主婦・主夫	19.3	31.6	21.1	5.3	19.3	9.6	17.5	6.1	21.1	33.3	20.2	4.4	4.4	50.9	1.8
	学生	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無職	26.7	62.2	26.7	4.4	13.3	4.4	6.7	2.2	20.0	26.7	26.7	2.2	2.2	37.8	0.0
	その他	24.6	28.1	10.5	19.3	12.3	24.6	7.0	5.3	22.8	26.3	24.6	1.8	3.5	56.1	3.5
無回答	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数	1年未満	70.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0
	1～5年未満	32.4	52.9	14.7	2.9	14.7	11.8	11.8	2.9	8.8	23.5	32.4	5.9	5.9	50.0	5.9
	5～10年未満	28.6	42.9	23.8	4.8	11.9	19.0	21.4	4.8	2.4	28.6	31.0	0.0	4.8	52.4	2.4
	10～20年未満	25.0	37.5	21.9	9.4	9.4	21.9	9.4	3.1	9.4	35.9	29.7	3.1	4.7	46.9	4.7
	20年以上	24.4	38.6	16.3	10.8	13.3	15.1	10.8	5.1	22.9	29.5	24.1	2.1	4.2	47.3	2.4
無回答	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「少子化に対する意識について」の調査を終えて

少子化に対する意識は、「非常に問題である」(64.2%)、「多少問題である」(28.0%)と回答した方を合わせると9割を超えており、少子化に対する問題意識の高さがうかがわれる。

少子社会の問題点については、「年金などの社会保障制度の維持困難」(39.6%)という回答が最も多く、次いで「様々な分野における労働力の不足」(29.5%)、「地方の過疎化の進行」(14.0%)となっている。

安心して子どもを育てられる環境については、5割以上が肯定的な回答であったが、子育て家庭のことを気にかけてくれる人が多いかについては、否定的な回答が約4割となっている。

仕事と子育てを両立する上での課題については、「育児休業等がとりにくい職場環境や雰囲気」(39.9%)という回答が最も多く、次いで「病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない」(35.3%)、「育児休業など制度面における職場の支援体制が不十分」(33.7%)となっている。

前回調査時(平成30年度)と比べると「育児休業など職場の支援体制が不十分」(H30:41.5%)が約8ポイント減少している一方、「育児休業等がとりにくい職場環境」(H30:33.9%)は約6ポイント上昇しており、制度の整備は進んでいるものの、利用しづらい職場環境が存在することがうかがわれる。

子育て中あるいは子育て経験のある方の子育てについての不安は、「子育てに係る費用」(47.6%)との回答が最も多く、次いで「子どもの健康」(40.0%)となっている。前回調査時においても「子育てに係る費用」(H30:48.2%)が最も多く、子育て世帯の経済的負担感が強い傾向は続いている。

今回の調査結果は、新たに策定する「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画(計画期間:令和7年度~令和11年度)」に反映させていく。

(保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課)

